

## ときを、つなぐ。

長く使ってほしいと願う。

だから良いものを、良いものだけを。

木がこれから生きたはずの時間を、  
せめて家具として生きることで全うさせたい。

そのためにも、精いっぱい技を磨き、

だれもが長く使い続けたくなる家具を創ること。

それが、尊<sup>すべ</sup>いのちに報いる唯一の術だと、

私たちは信じています。



安心、安全、国産家具

一般社団法人日本家具産業振興会では、「安全、安心、環境」に配慮した国産家具を生産するメーカーや取り扱い事業者を「国産家具表示ができる事業者」として認定しています。その第1回目の認定事業者として、弊社が認定を受けています。

## 木部のお手入れの基本

1. アルコール、塩素系漂白剤や次亜塩素酸水は、木材を痛める原因となります。消毒には使わないでください。(オイル塗装の場合も同様です。)
2. 普段は、柔らかな乾いた布で乾拭きしてください。
3. 塗装部に化学ぞうきんを使用する場合は、その取扱い説明書をよく確認してください。塗装面のツヤが消えたり、シミになる場合があります。(消しゴムでの汚れ落としも塗装面を痛める可能性があります。)
4. 万一汚れたときは中性洗剤を3~5%位に薄めたぬるま湯に柔らかい布を漬け、硬く絞って汚れを拭き取ってください。そして水拭きで洗剤液を十分に拭き取ったのち乾拭きし、十分自然乾燥させてください。
5. 天然木にとって水分や熱は大敵です。変色や反り割れの原因となります。直射日光が当たる場所やストーブなど、発熱体の近くには置かないでください。冷暖房の風が直接家具に当たらないようにしてください。また、部屋の湿度は40~60%が最適です。
6. オイル仕上げの場合、熱いものや水滴の付いたグラスを直接置かれると、輪染みの原因となります。
7. オイル仕上げは長時間使用するうちにオイル分が失われていきます。滑らかさが失われたり色あせが見られた時だけではなく定期的なメンテナンスをお勧めします。詳しくはメンテナンスオイルの説明書をご覧ください。



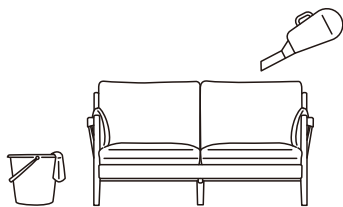
## ファブリックを使用している製品について

### 1. 普段のお手入れ

- 掃除機でほこりやゴミを取り除く。
- 水洗いや乾燥機は使用できません。

### 2. 染み抜きの方法

- はじめに、こぼれた液体や固体をスプーンなどですくい取り除く。
- 細かい個体のものが付着している場合は、掃除機で吸引する。
- 液体は吸収性の高いナプキンや布で、こすらずに吸い上げる。
- 油污れ以外のシミには、糸くずの出ない布やスポンジを、温かいお湯で湿らせ、優しく叩く様に拭き取ってください。
- 湿らせた箇所の縁に出来る跡は、汚れていないキレイな布を使い、外から中央に向かって、円を描く様に、生地を叩き拭いてください。
- 油污れのシミには、専用の洗剤やシミ抜き剤をお使いください。  
(見えにくい箇所を確認してからお使いください。)



## 人工スエードを使用している製品について

対象生地/F2(ウルトラスエード®、ダイナミカ®)

1. ホコリなどの汚れは、エチケットブラシで軽くブラッシングしてください。全体の汚れが気になる場合は、ぬるま湯をしみこませ固く絞ったタオルなどで全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えてください。
2. 液体汚れはティッシュペーパーなどを軽く当てて吸い取ってください。その後、ぬるま湯をしみこませ固く絞ったタオルなどで、汚れに対し外から内に向けて各方向から拭いてください。
3. 表面に乾燥して固着した汚れは、汚れ部分を軽くブラッシングしてください。その後、掃除機で乾燥汚れを吸い取ってください。
4. 油污れは、ティッシュペーパーなどで汚れが広がらない様に拭き取ってください。その後、ベンジンを染み込ませた布で汚れ部分を外から内に叩いたのち、浮いた汚れとベンジンを乾いた布で叩きながら吸い取ってください。

## 合成皮革を使用している製品について

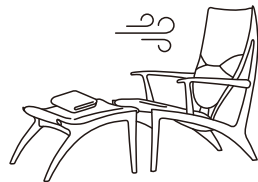
1. 日常のお手入れは、柔らかな乾いた布で軽く乾拭きしてください。
2. ビニール製品などを長時間重ねたままにすると、変色の原因になりますので注意してください。
3. 汚れ落としやお手入れのために、ベンジンやアルコール系などの溶剤が配合された物を使用しないでください。

## 本革を使用している製品について

1. 柔らかな乾いた布で表面を軽く拭いてください。
2. 液体をこぼした場合は、速やかに乾いた柔らかい布などで軽く叩くようにし水気を吸い取ってください。直射日光を避け、風通しの良い場所で乾燥させてください。汚れたまま、湿度の高い場所でご使用になれますとカビなどの原因になります。
3. 直射日光に長時間当てないようにしてください。
4. 靴用クリーム・溶剤(シンナー・ベンジンなど)、車・床用ワックスは使用しないでください。
5. エアコン・ファンヒーターの吹き出し口の前に設置しないでください。
6. 塩素系洗剤は使わないでください。
7. 化学ぞうきんはご使用にならないでください。

革のメンテナンスに関しては、以下を参照してください。

川善商店 <https://kawazen.co.jp/maintenance/>



## 椅子を使う時の注意点

以下の内容に注意してください。転倒・怪我・破損の原因になります。

1. 踏み台用としては設計されていませんので、椅子を踏み台代わりにするなど、座る目的以外では使用しないでください。
2. 椅子の上に立ったり、飛び跳ねたりしないでください。
3. 座った状態で、椅子を傾けないでください。
4. 肘部や背もたれの上に腰掛けたり、乗ったりしないでください。
5. 回転機能が付いた椅子は、椅子の中央に腰掛けてください。不安定な姿勢で座らないでください。  
※3本脚や、背の高いスツールに座る場合も同様の注意が必要になります。
6. ネジ類やジョイント部はゆるみがないか時々点検し、ゆるんでいる場合は締め直してください。
7. 可動部のある椅子は、動作により手や指を挟まないように十分注意してください。ケガをする場合があります。

